

あきつ会卒業60周年記念式典・あきつ会総会

令和5年10月10日

次 第

開会の辞

物故者読み上げ 黙祷

あきつ会会長挨拶

来賓紹介・挨拶 小野 朋士先生

スピーチ 高津 聖志さん

報告 I あきつ会報告

II あきつ会収支報告

審議 I あきつ会今後の活動について

II 60周年記念誌について

校歌斉唱

閉会の辞

記念撮影 式典終了後 能舞台

2回に分けて撮影します。

1回目は名札の右下が青

2回目は名札の右下が赤

60周年の宴 開宴 17:00

1次会 閉宴 19:00

日帰り参加者送迎バス出発 19:15頃

引き続いて 2次会 19:30より

没年月日	姓	名	旧姓	姓 読み	名 読み	旧姓 読み
2013/09/09	大橋	勝也		おおはし	かつや	
2013/12/17	土屋	進		つちや	すすむ	
2014/03/31	矢嶋	秀俊		やじま	ひでとし	
2014/04/24	矢崎	勝則		やざき	かつのり	
2015/03/18	三澤	偉夫		みさわ	いさお	
2016/06/13	伊藤	直彦		いとう	なおひこ	
2016/06/22	百瀬	茂樹		ももせ	しげき	
2017/10/29	逢沢	國晃		あいざわ	くにあき	
2017/11/30	両角	千江子		もろずみ	ちえこ	
2018/01/02	中村	一紀		なかむら	かずき	
2019/01/09	百瀬	育治		ももせ	やすじ	
2019/02/16	犬飼	健		いぬかい	けん	
2019/03/09	小口	勝彦		おぐち	かつひこ	
2019/04/14	奥原	浩史		おくはら	ひろし	
2019/11/**	藤牧	渡		ふじまき	わたる	
2020/02/01	島村	次朗	川口	しまむら	じろう	かわぐち
2020/06/18	中島	正敏		なかじま	まさとし	
2020/08/04	荻原	勝昭		おぎわら	かつあき	
****/**/**	五十嵐	俊一		いがらし	しゅんいち	
2020/10/03	中田	義一		なかた	ぎいち	
2021/03/13	小野	彪		おの	たけし	
2021/03/29	武井	経憲		たけい	つねのり	
2021/10/15	山浦	寿		やまうら	ひとし	
2021/11/30	山本	勝彦		やまもと	かつひこ	
2022/03/11	中嶋	正廣		なかじま	まさひろ	
2022/08/01	清水	漠		しみず	ひろむ	
2022/08/23	村澤	健吾		むらさわ	けんご	
2023/01/09	藤澤	嘉正		ふじさわ	よしまさ	
2023/05/**	中村	栄子	倉田	なかむら	えいこ	くらた
2023/08/04	村田	順	村上	むらた	じゅん	むらかみ
2023/08/13	深沢	弘康		ふかざわ	ひろやす	

「第15回あきつ会」卒業60周年記念事業式典に臨んで

私達は昭和38年、1963年3月に長野県松本深志高校を卒業しました。

本日ここに恩師の小野先生をお迎えして卒業60周年記念式典を迎えることが出来ましたことを心より嬉しく思います。

413名の仲間と共に卒業しました。9月末までの事務局で把握しております物故者の皆さんは78名となっており、この10年で31名の仲間を失っております。

335名の皆さんと共に60年を迎えることが出来、本日の出席者は56名です。

さてここで、この60年を振り返ってみます。

入学の年1960年（昭和35年）に、私達は60年日米安保争議の国会審議の混乱に抗議しまして、当時の岡田校長先生を先頭に、恩師の皆様と共に、市中行進を経験しました。

卒業の年1963年（昭和38年）11月にはケネディアメリカ大統領の暗殺事件があり、次の年1964年（昭和39年）には東京オリンピックが開催されました。

あれから57年後の2021年に、生涯2度目の東京オリンピックが開催されました。何らかの因縁を感じます。

卒業10年後の1973年（昭和48年）には第1次石油ショック

卒業20年後の1983年（昭和58年）には東京ディズニーランドの開園、そして1989年（昭和64年）1月には昭和天皇が崩御し平成と変わりました。

卒業30年後の1993年（平成5年）には細川内閣が成立し政権交代。

1994年（平成6年）4月には松本サリン事件、そして翌年の1995年には地下鉄サリン事件と阪神大震災が発生しております。

卒業40年後の2003年（平成15年）にはイラク戦争が始まりました。

卒業50年後の2013年にはアベノミクスで日銀の異次元金融緩和が始まり、現在まで続いております。

この60年の中で最も記憶に残っていることは、2011年（平成23年）3月11日の東日本大震災と、福島原子力発電所爆発事故です。更には2020年から

のコロナ感染パンデミックです

人とのつながりの変革を否応なく体験しました

この60年の中で私達は、

1965年からの第2期高度成長期、

1973年からの安定成長期

1986年からのバブル期、

1991年のバブル崩壊とその後のデフレの継続とコロナ感染で、いわゆる失われた30年+アルファを実感しました。

こうして振り返りますと、私達個人個人が大きな波のうねりの中で揉まれもまれながら、60年間に留まることなく進んできました。

次に「第15回あきつ会」の歴史を振り返ってみます。

卒業20周年には、名簿を発行しております。この時代には紙ベースの名簿についてはプライバシー保護等、何の問題もありませんでした。

卒業30周年は、松本音文で恩師、同窓会長、学校長を招いて記念式典と丸山亮作品コンサートを行うと共に、写真集を発刊しました。

卒業40周年には、母校の講堂で、恩師、同窓会長、学校長を招いて記念式典と記念講演を行った後、会場を移して「環境問題」「老後の生き方」「教育・モラル」等をテーマとした車座トークを開催しました。また後日「蜻蛉ヶ丘に集いて」と題した記念誌を発刊しました。

50周年には「尚学塾」ということで、午前中に我々の同期生13人の経緯豊富な皆さんが講師となり、教室で在校生に対して講義授業を行い、午後は教育会館で恩師、同窓会役員、学校長を招いて記念式典を行いました。

尚学塾の講義の内容、式典、懇親会の様子をCDにて作成し皆さんにお配りしました。

30年、40年、50年にはそれぞれ学校への支援金の贈呈も行いました。

今回は支援金の贈呈は計画しませんでした。

五木寛之は「林住期」という本の中で、インドでは人生を「学生期」、「家住期」、「林住期」、「遊行期」の4つに分けて語っております。

人生100年の今私達は、「林住期」を過ぎ、75歳から100歳の「遊行期」と言う第4の人生の季節の中に進んできました。

「遊行期」は人生の最後を積極的に生きる事を意味しています。

森羅万象とこの世の真理を知り、物質世界の煩悩を離れた生き方を示唆していると思います。日常生活から解放されて自由に生き、遊びの感覚で精神的に放浪したいものです。(どなたかのブログからお借りしました)

本来の自分を見つめ、心が求める生き方をして、感謝の心をもって改めて家族や友との理解を深めようと思います。

ところで先日深志同窓会の役員会に出席した際に凄いことを知りました。

我々の11年先輩の第4回生昭和27年3月卒業の皆さんが、2022年9月に70周年記念事業を実施し、80万円の母校支援寄付をしていることが判りました。驚くべきことです。

先に逝っている友には、もう暫く待っているようにお願いして、心行くまで自分の時間を生きて行こうではありませんか。静かに「遊行期」を迎え、10年後に再会しましょう。

小野先生ありがとうございました。

実行委員の皆様ありがとうございました。

この60年間「第15回あきつ会」を長い間支えて頂きました皆さんに改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

60年間「第15回あきつ会」を支えて頂きました、事務局長の金岩博司さん、事務局を支えると共に同期の皆さんの情報交換の場であるホームページの維持管理を続けて頂きました伊藤光幸さん、事務局でいろいろな記録を残すと共に、20, 30, 40, 50周年記念の文集作成に尽力して頂きました百瀬武さん、そして初

2023/10/10

期からあきつ会の基礎を作って頂きました竹川進一さんに改めてお礼を申し上げたいと思います。

本当にありがとうございました。

皆さん拍手を以ってこのご苦勞にお応えください。

ありがとうございました。

私の挨拶を終わります。

第1回あきつ会卒業60周年記念実行委員会 令和4年10月15日

あきつ会通信 令和5年8月1日

令和5年10月10日

あきつ会卒業60周年記念集会を開催します。

首都圏あきつ会

令和2年～令和4年 3年連続で中止

あきつ会松本月例会

令和2年 開催8回

1月 特別例会：17名 2月：6名 6月：8名

7月：7名 9月：7名 10月：8名 11月：7名

12月：6名

令和3年 開催3回

10月：10名 11月：9名 12月：6名

令和4年 開催6回

7月：4名 8月：6名+1名 9月：5名

10月：実行委員会10名+リモート2名

11月：5名 12月：7名

令和5年 9月まで 開催9回

1月：7名 2月：袖山さん送別会 12名+1名 3月：5名

4月7名 5月：10名 6月：6名 7月：6名 8月：9名

9月：7名

あきつ会活動報告

令和2年～令和4年 3年連続 あきつ会総会は中止になりました。

あきつ会通信でたどってみます。

あきつ会通信 令和2年7月10日

令和2年度あきつ会総会及びゴルフ会は新型コロナウイルス感染症の東京方面で再び急増により東京都による「東京都民は不要不急の他県への異動自粛」の要請のため、開催を延期します。

あきつ会通信 令和3年4月30日

新型コロナウイルス感染症第4波 お見舞い申し上げます。

8月14日 総会を企画するも中止

あきつ会通信 別冊 令和3年5月

総会の代わりに「皐月のたより」を寄せてもらいました。40名

あきつ会通信 令和3年7月10日

コロナワクチンの接種はお済でしょうか。

総会は中止

あきつ会通信 別冊Ⅱ 令和3年8月

あきつ会 「夏のたより」 6名の方

あきつ会通信 令和3年9月10日

10月延期開催を予定しておりました令和3年度あきつ会総会はコロナの感染拡大のため、中止いたします。

あきつ会通信 令和4年7月10日

令和4年度あきつ会総会は中止とします。

あきつ会60周年にむけて 51名投稿

深志15回あきつ会ホームページ

深志15回あきつ会

since 2006/07/13

87617

昭和38年卒業の仲間達

最終更新：2023年10月01 No.1059

TOPページ

事務局からの連絡

事務局へのメール

創立140周年記念

卒業60周年記念

卒業50周年記念

同級会・同窓会

会員近況報告

近況報告(訃報)

ページ更新履歴

掲示板(写真など可)

本文・添付ファイルなど
管理者が編集し掲載

夏期総会(8/14)

首都圏あきつ会

松本地区月例会

画面キャプチャ

あきつ15図書館
会員の著書紹介

あきつ15写真館
会員撮影の写真

会員作品投稿

リンク集
会員・深志HP

メール登録者一覧

松本市公式観光情報
ポータルサイト

新まつもと物語
YOUNG MATSUKO CITY



校歌演奏

↑ 校歌を演奏する **令和5年**

アクセスカウンターの様式変更

卒業60周年記念のページへ

川柳 記念式典案内 例会報告

住所変更 訃報 ゴルフ(番外編)

新聞 数学五輪N 60周年ゴルフ

剣道部 まつもと市民芸術館 俳句

校歌

一、蒼い波の涯に
たてり大和の秋津洲
そのうはしき名を負へる

二、時の流れは強うして
自治を生命の若人は
山河を以て此の郷に

三、暁のこめて鳴り出でし
世の先駆者の名に恥ぢず
移らふ星を数へて

四、朝に即ち槍を
夕武の野を行けば
鳴呼学術の香に集ふ

五、古城空しく昔古りて
清き心のひとすちに
自市の大復興へし

黒崎たぎる絶東に
先宋の歴史は三千年
鎗鋒男児に栄えあれ

この世の路は長けれど
強き「力」に生くるかな
礎固し我が母校

時代の鐘を身にしめて
心を磨き身を鍛へ
守るも久し深志城

深き真理を探りつゝ
胸に充ちくる想華あり
契りも深き友九百

濁世の波は高けれど
志あるますらをは
前途遙かに望む哉

松原 威雄 作詞
岡野 貞一 作曲

表示内容

事務局からの連絡	会員からの連絡（各種会合開催の連絡・情報連絡など）
事務局へのメール	会員からHP事務局へのメール（短文・長文の2方法紹介）
創立140周年記念	深志高校創立140周年の状況
卒業60周年記念	あきつ15回卒業60周年の記念行事・追加編集予定
卒業50周年記念	あきつ15回卒業50周年の記念行事の結果
同期会・同窓会	同級会・同窓会の結果表示（開くにはパスワードが必要）
会員近況報告	住所変更などの近況報告
会員近況（訃報）	2023年2月から上記の近況報告から分離
ページ更新履歴	HPの更新履歴
掲示板(管理者記載)	会員&深志高校の新聞記事内容を掲載
夏季総会	夏季総会の結果報告
首都圏あきつ会	首都圏あきつ会の結果報告
松本地区月例会	松本地区月例会の結果報告
画面キャプチャ	キリ番達成者がアクセスカウンターの証拠写真を撮す方法
あきつ15図書館	会員の書籍の紹介
あきつ15写真館	会員の撮影写真の紹介
会員作品投稿	俳句・俳句の季語・短歌・川柳・自由投稿
リンク集(会員・深志)	会員のホームページヘルプ&深志高校同期会のHP紹介
メール登録者一覧	メール登録者の氏名表示（更新を怠っている）
新まつもと物語	市民が作る松本市公式観光サイトへのリンク
信毎Web	信濃毎日新聞Web版（無料）へのリンク

<http://www.go.tvn.ne.jp/~akitsu15/>

令和4年度あきつ会 会計収支報告書 4.7.1～5.7.30

報告者 金岩博司

収入				
	前年度繰越	710,465		
	年会費振込	228,500		
	雑収入	13,335		
			952,300	

支出				
	印刷費	4,720		
	管理費	94,813		
	消耗品	62,631		
	通信費	62,127		
	払込手数料	19,153		
	備品費	6,960		
	慶弔費	7,971		
	会議費	20,835		
			279,210	

次年度繰越		673,090	
-------	--	---------	--

繰越金明細				
	ゆうちょ銀行	振替口座	9,655	
	ゆうちょ銀行	貯金口座	643,629	
	松本信用金庫	預金口座	0	解約
	金岩	手持ち現金	19,806	
			673,090	

会計 金岩博司 

令和5年9月21日 監査いたしました

会計監査 吾木忠孝 

あきつ会卒業60周年記念集会にあたり事務局よりあきつ会の今後について、6つの提案をします。

① 今後のあきつ会について60周年記念集会を区切りとして活動を見直し、今総会を最終総会とします。

② あきつ会年会費の徴収は令和5年度を最後とします。

令和2年より3年間あきつ会は総会を開けませんでした。

③ 松本のあきつ会月例会と首都圏あきつ会は有志の集まりとして継続いたします。

それぞれのゴルフ会も同様です。首都圏あきつ会への通信費補助は資金の範囲内で継続します。

④ 「あきつ会通信」と「あきつ会ホームページ」はあきつ会の残余金の範囲で継続します。継続を望む有志の寄付があれば、出来る限り継続してお届けしたいと思います。

⑤ 当面、あきつ会事務局とHP事務局、ゆうちょ銀行の口座は維持します。

⑤ あきつ会解散時（時期不明）残余金があれば深志同窓会に寄付します

なお、発行を予定しております、60周年記念誌については刊行時に2000円程の代金をご負担していただきたいと思います。

宿泊者

29

氏	名	旧姓	宿泊
青木	TADA		1
赤澤	KYOU	岩原	1
蟻川	NORI		1
伊藤	MITSU		1
伊藤	MINO		1
大原	GORO		1
小澤	MUNE		1
小野	ISA		1
金岩	HIRO		1
吉川	KATSU	桐山	1
久保寺	ISA		1
小松	NAGA		1
島	RIE	和田	1
白澤	MASA		1
杉下	KATSU		1
田村	MASA		1
知野	KAZU		1
堤	TOKU		1
戸谷	HIRO	宮沢	1
等々力	YASU		1
名小路	AKI		1
新村	TOSHI		1
原	HIRO		1
降旗	KATSU		1
降旗	SOU		1
丸山	AKI		1
宮下	NAO	甲斐	1
百瀬	TAKE		1
百瀬	MASA		1

日帰り者

28

氏	名	旧姓	日帰り
石原	SHIGE	小原	1
伊藤	TSUYO		1
今井	HIRO		1
植原	TETSU		1
荻原	YOSHI		1
小口	TOMO		1
中田	KIN		1
鴨居	HIRO		1
北川	KEN		1
鴻田	YASU	下條	1
佐藤	FUMI		1
関	KIWA	水上	1
関	TSUNE	杉山	1
袖山	HIRO		1
高津	KIYO		1
中越	SHIN		1
福島	MOTO		1
藤野	YUU		1
星野	KEN		1
細野	KUNI		1
堀内	TADA		1
松尾	HIRO		1
松本	TAKA		1
丸山	TAE	久保内	1
丸山	RYO		1
森田	AKI		1
吉澤	KUNI		1
米窪	KEN		1

校歌

松原 威雄 作詞
岡野 貞一 作曲

1 ^{そうめいとお}蒼溟^{はて}遠き波の涯
^{やまと}たてり大和の^{あきつしま}秋津洲
^わそのうるはしき名を^{おえ}負へる

黒潮たぎる^{ぜっとう}絶東に
^{はえ}栄光の歴史は三千年
^{あきつ おのこ}蜻蜻男児に栄えあれ

2 時の流れは強うして
自治を^{いのち}生命の若人は
^{さんが ひい}山河秀でし此の^{さと}郷に

この世の旅は長けれど
強き「力」に生くるかな
^{いしずえ}礎 固し我が母校

3 ^{あかつき}暁 こめて鳴り出^いでし
世の先^{さきがけ}駆者の名に恥ぢず
移らふ星を^{かかな}数べて

時代の鐘を身にしめて
心を^{みが}磨き身を鍛へ
守るも久し深志城

4 ^{あした}朝に仰ぐ^{そうがく}槍嶽に
^{ゆうべつかま}夕 筑摩の野を行けば
^{ああ}嗚呼^か學術の香に^{つど}集ふ

深き^{まこと}真理を探りつゝ
胸に充ちくる^{おもひ}想華あり
^{ちぎ}契りも深き^{ともくひやく}友九百

5 古城^{むな}空しく^{こけ ふ}苔古りて
清き心のひとすぢに
自治の大旗翻へし

^{ちよくせ}濁世の波は高けれど
^{こころざし}志 あるますらはは
^{ゆくて}前途^{かな}遙かに望む哉